

# 補正予算成立で 温暖化対策促進

## 環境性能の高い自動車（エコカー）への買い替え補助

長年乗った車を廃車して新車を購入

車齢13年以上の車を廃車にして、2010年度の燃費基準を満たす新車を購入すると、普通自動車（登録車）で25万円、軽自動車で12.5万円を補助します。この補助は4月10日以降に購入した新車に適用されます。

廃車せずより環境性能の高い新車を購入

廃車をせずにより厳しい燃費基準（排ガス性能 四つ星かつ、2010年度燃費基準+15%以上）を満たす新車を購入すると、普通自動車で10万円、軽自動車で5万円を補助します。

これらの新車購入補助と、既に導入済みの自動車重量税・取得税を減免するエコカー減税は併せて適用することができます。

例 15年乗った普通自動車から250万円のハイブリッド車に乗り換え（エコカー減税17万円減税）+（買い替え補助25万円補助）=42万円すると・・・250万円のハイブリッド車が208万円で購入できます。

例 廃車をせずに250万円のハイブリッド車を購入

（エコカー減税17万円減税）+（新車購入補助10万円）=27万円すると・・・250万円のハイブリッド車が223万円で購入できます。

（裏に続きます）

## 省エネ性能に優れた家電への買い替え補助（エコポイント）

省エネ性能に優れたグリーン家電（エアコン、冷蔵庫、地デジ対応テレビ）を購入するとエコポイントがもらえます。エコポイントは、環境に配慮した商品やサービス、地域の振興に役立つと交換できます。具体的には、全国で使える商品券やプリペイドカード（SUICA等）、地域商品券や地域の特産品、省エネ・環境配慮に優れた商品などと交換ができ、ご自分で選択できます。

エコポイントの申請受付は7月1日から始まり、インターネットから申し込むか、購入したお店等に置いてある申請用紙（郵送）によって申請できます。交換できる商品は6月中に発表され、商品との交換は、8月から始まる予定です。申請には、購入した際の領収書と保証書（コピー）等が必要です。

エコポイントやエコカーの買い替え補助によって二酸化炭素の排出を削減し（地球温暖化対策）、購入が増加することで経済を活性化し（景気対策）、環境性能に優れた自動車や家電の普及促進などが期待されます。

先日麻生総理は、2020年における二酸化炭素などの温室効果ガスを2005年から15%削減する中期目標を発表しました。アメリカのオバマ大統領は、同じく2005年比で14%、EUは2005年比で13%という数字を発表しています。日本の削減目標は、純粹に削減する数字を挙げていますが、アメリカやEUは海外から買い取った排出権や森林の吸収分を含むため、実際には日本の方が厳しい削減目標を掲げています。

これから京都議定書に代わる新たな温室効果ガスの削減条約締結に向けた国際交渉が本格的に始まります。京都議定書は、アメリカが未批准であったり、中国やインドといった急成長している途上国が不参加であるなど多くの問題点がありました。温暖化対策は重要な課題ですが、今度の条約締結交渉では、世界各国が公平な条件の下で参加し、日本一国が不利益を被ることがないように国益を十分に考慮した交渉が必要です。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000

FAX:045(323)2974